

○トランプ大統領と日本の独立

世界中でひんしゆくをかいながら、トランプ大統領の強権が発動されています。その結果が本当にアメリカや世界にとって好ましいものなのか、大いに懐疑的です。特に、このトランプ大統領の強権に対し、アメリカの分断がさらに過激なものになってきていることが気になります。先日、日米議員交流会議で来日した議員達が、「大統領が途中で失脚する悪夢だけは、見たくない。」と、本音ともとれるような発言をしていました。

安倍総理は、ゴルフ外交で個人的な信頼関係を構築したと言っています。大統領選の時にトランプ氏が言っていたような、米軍駐留費用を日本がもっと負担しろとか、日本の円安誘導はけしからんとかいうような話には出なかったという報告がありました。アメリカはTPPを抜けて、貿易交渉は二国間でやり直すことがはっきりしています。これまでの、日米交渉の経緯から考えると、「アメリカが日本を守っているから、経済分野では日本はアメリカの言うことに従うこと。」など、防衛と絡めた厳しい交渉をしてきます。安倍総理の方向で、増々アメリカ一辺倒で進めば、結果は、アメリカの交渉力を高めるだけで、日本に打つ手はなくなります。トランプ大統領のアメリカと対峙するためには、アジアの中の日本を大事にすること。今こそ、中国や韓国と真の和解を実現することが、アメリカとの対等の関係を作ることに繋がります。日本の外交手腕が問われます。

○安倍総理の本質を問う森友学園

森友学園のスキャンダルが広がりを見せています。破格の値段での国有地払い下げに政治家がどのように絡んでいたか、はっきりさせることが、予算委員会の争点になっています。私は、今回の事件を通じて、もう一つ大きな問題があると思っています。幼稚園で行われている、園児に教育勅語を暗唱させ軍歌を歌わせる教育内容についてです。籠池理事長の戦前回帰的な極端な教育理念に昭恵夫人が名誉校長となって教育内容を礼賛するメッセージを送っていました。これまで関わりのあったとされる、閣僚や国会議員、府議会議員の名も出てきました。私学のこととはいえ、今後の日本にとって望ましい教育内容なのか、考えなければなりません。

○重要な課題は議員立法で

今取り組んでいるいくつかの議員立法が紆余曲折を経ながらも、法案化の目途が立ってきました。女性の政治参画を進め、各政党で目標を立てて、最終的には、男女均等にしようという女性の政治参画推進法案は、この国会会期中に成立が見込めそうです。民進党でも、しっかり候補者を立てないと、その本気度が問われると、発破をかけています。日本語教育推進基本法は、超党派の議員連盟が設立され、関係者からのヒアリングと法案のたたき台を作る作業に入っています。また、日本国内に在留する外国人を差別することなく処遇することと、日本が今後どのような外国人を何人受け入れるかという入り口の基準を作るための多文化共生社会基本法も立法化していきたいと思っています。その他、「ベーシックインカム」に代表されるような、社会保障や税の制度を適正な再分配という考えに基づき根本から作り変える作業も勉強に入っています。

○後援会行事

新春の集いは、多くの皆様にご出席いただき、年の始まりにたくさんの力をいただきました。ありがとうございました。

県会・市会議員の皆様と、活動報告懇談会を各地区にて開催させていただく予定です。詳細は中川正春鈴鹿事務所または県議・市議の皆様までお問合せください。

○三重県第2区総支部より

党員・サポーター募集中です。すでにご登録いただいた皆様、ありがとうございます。巨大与党にしっかりと対峙していくためにも、皆様の支えが必要です。ご登録、よろしく願いいたします。

※登録方法は鈴鹿事務所にお問合せください。

～県連・総支部関連行事のご案内～

4月1日(土)

三重県連大会 於/津センターパレス
民進党躍進パーティー(会費20,000円)

4月15日(土)

第2区総支部定期大会 於/鈴鹿市労働福祉会館

また、民進党三重県連では「政治スクールみえ」第7期塾生を募集しています。

いずれも詳細は鈴鹿事務所までお問合せください。